



IXIL ラシッサ 室内引戸 Vレール方式(NC90) 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …施工を誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



●建付け調整をして、本体と上レールのかかりを5mm以上にしてください。扉が倒れて、ケガをするおそれがあります。

保管・施工前のお願い

- 取付け後の損傷は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。
製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 本体は、ソリ・ねじれ防止のため以下の場所には置かないでください。
(直射日光が当たる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い)
- 壁内結露が発生する可能性がある場合は、枠部材に防水処理をしてください。
- 本体部品が損傷し開閉に支障きたすので、落下させたり衝撃を加えないでください。
- テープは表面シートに貼ると、はがす際にシートが損傷するので貼らないでください。
- 立て置き長期保管はソリ・ねじれとなるので、寝かせた状態にしてください。
- 本体損傷防止のため、建築工事中は、施工後に吊込むことをおすすめします。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	本体と上レールのかかりは5mm以上ありますか？ 必要に応じて戸車の上下調整をしてください。	<input type="checkbox"/>
2	ソフトモーションは正常に作動していますか？ 必要に応じてソフトモーション受け部品の高さ調整をしてください。	<input type="checkbox"/>



このマンガはフィクションです。実在の人物や団体などとは関係ありません。

■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品

<p>片引き用本体</p> <p>1枚梱包</p>	<p>片引き用枠</p>
<p>片引き用埋込敷居</p> <p>埋込敷居</p> <p>レール</p>	<p>片引き用フラット下レール</p>
<p>片引き用ツバなし薄敷居</p> <p>ツバなし薄敷居</p> <p>レール</p>	

1 開口部の作り方

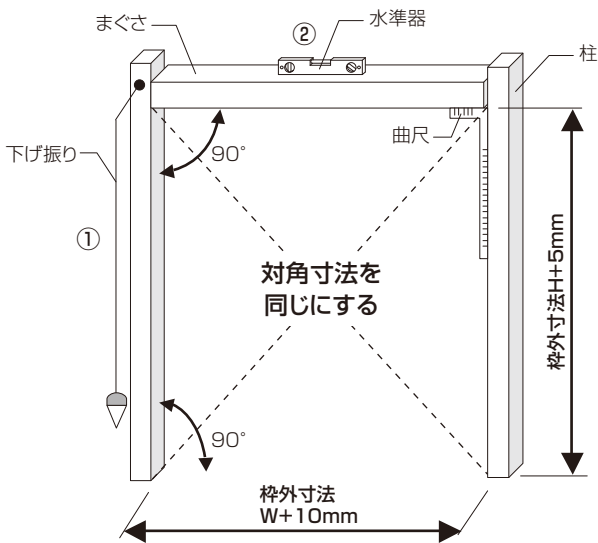
開口部施工上のお願い

- 製品不具合となるので、全て含水率20%以下の建築材料を使用してください。
- 片引戸の小壁は枠を取付けてから施工してください。

【軽量鉄骨に施工する場合】

開閉不良となるため、同梱のねじを使用してください。
 軽量鉄骨との干渉を避けるため、必ず40mm以上の木枠を入れてください。

- ①開口は、枠外寸法に対して高さ：+5mm、幅：+10mmとしてください。
- ②開口は必ず水平垂直にしてください。



■対応壁厚について

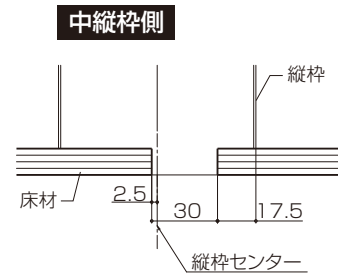
(単位：mm)

ノンケーシング	見込み	対応壁厚
	NC90	64~70

2 床の張り方

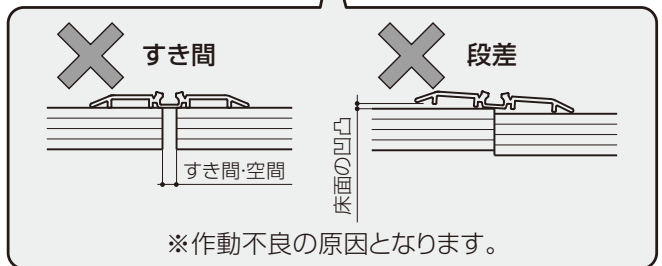
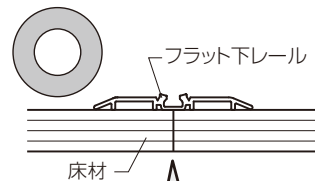
■埋込敷居

- ①床材を、下記寸法に合わせてすき間を開けて張ってください。



■フラット下レール

- ①床材は段差なく、すき間なく張ってください。



■ツバなし薄敷居

- ①床材は後張りです。

3 枠の組立て

枠組立て上のお願

- 製品脱落・枠の垂れ下がり・ゆがみとなるので同梱のねじを使用してください。

- ①下図のように同梱のねじで枠を組み立てます。
- ②組立てねじ部に穴埋めシールを張付けてください。

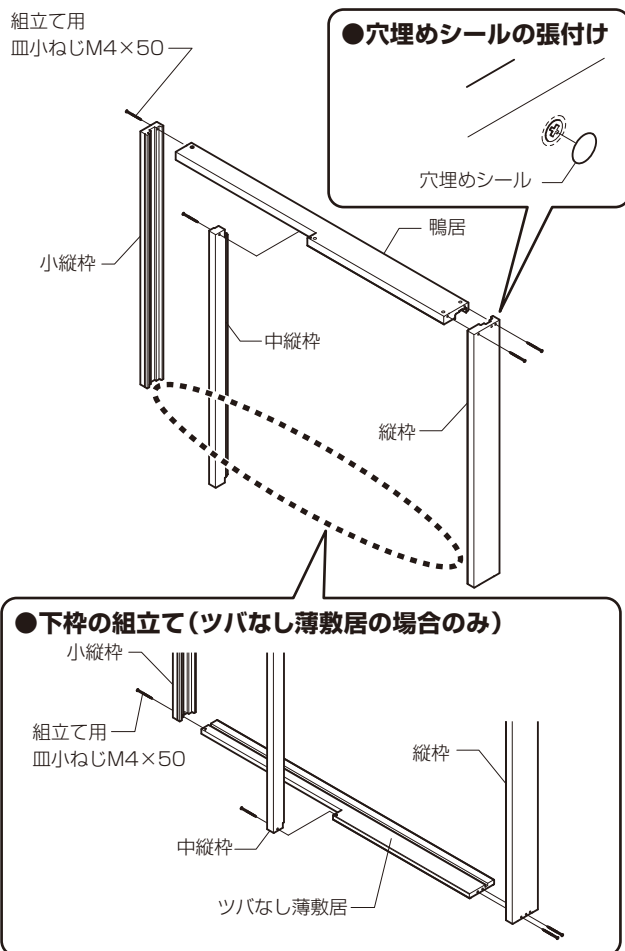
■枠部品セット

名称	入数
組立て用皿小ねじM4×50	4
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50	5
縦枠取付け用DNねじ(皿木ねじ)φ3.8×50	6
穴埋めシールシート	1

■ツバなし薄敷居用部品セット

名称	入数
組立て用皿小ねじM4×50	5
薄敷居取付け用ねじφ3.3×30	6

※接着剤、かくし釘は現場手配。



※図はL勝手

4 枠の取付け

枠取付け上のお願ひ

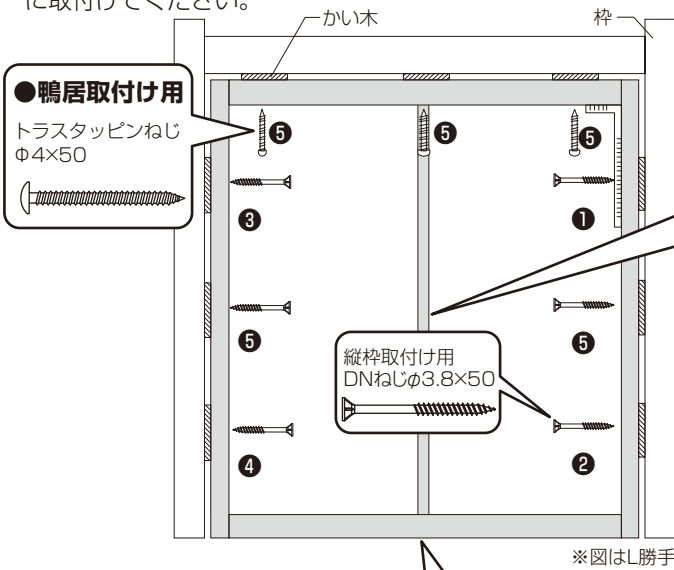
- 床面がコンクリートやモルタルの場合は、防水処理をしてください。
 - 枠は必ず水平垂直に取付けしてください。
 - 枠と躯体の間に、かい木の表裏に接着剤(※)を塗布してねじ固定部に入れてください。
 - 本体作動不良になるので、鴨居固定ねじは締めすぎないでください。
- ※現場手配

- ①枠と躯体の間にかい木をいれて縦枠、鴨居を指定のねじで固定してください。
- ②中縦枠は、接着剤(※)を塗布して、隠し釘(※)で固定してください。
埋込敷居/フラット下レールの場合、中縦枠位置ラベルに合わせて中縦枠を固定してください。(部材取付はP.5参照)
- ③幅木は、裏面に接着剤(※)を塗布し、隠し釘(※)(約300mmピッチ)で固定してください。

※現場手配

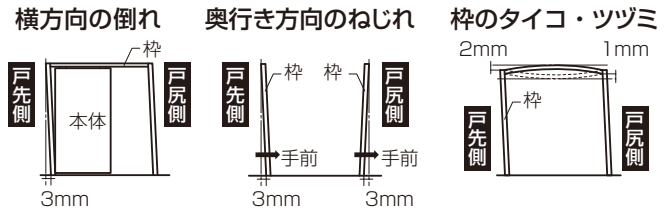
■下枠の取付け(ツバなし薄敷居の場合のみ)

- ①薄敷居に接着剤(現場手配)を塗布し躯体に固定します。
- ②レールを敷居の溝にプラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。
- ③戸当たりの長さを合わせてカットし、接着剤を塗布して枠に取付けてください。



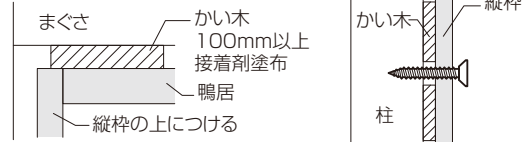
●取付け精度について

下図の範囲内で必ず取付けしてください。

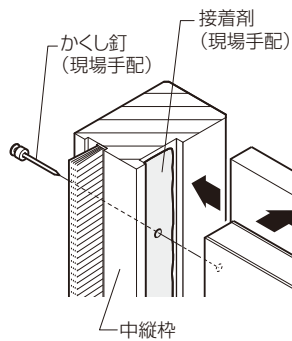


※範囲を超えると作動不良となります。

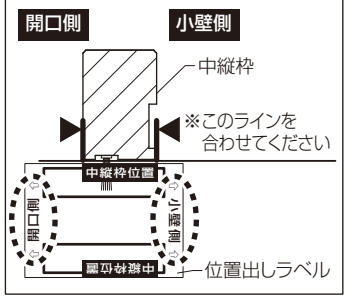
●かい木について



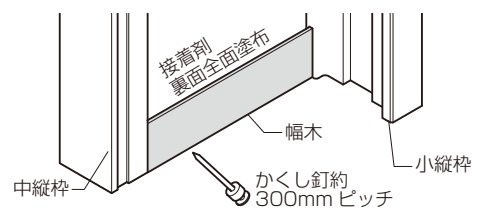
●中縦枠の固定



●下部の位置出しについて (埋込敷居/フラット下レール)

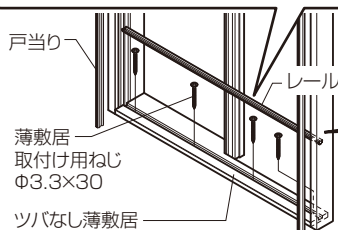
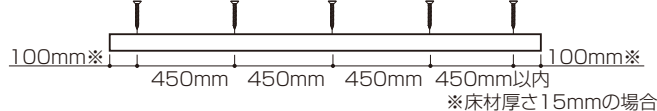


●幅木



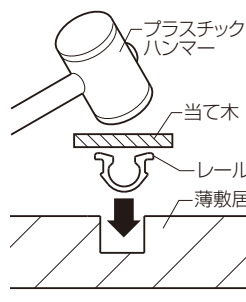
●下枠の取付け(ツバなし薄敷居の場合のみ)

●取付けピッチについて(床材厚さ12mmの場合)

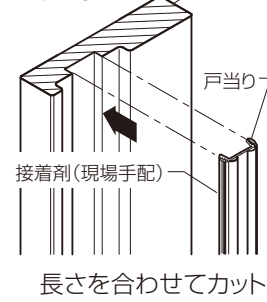


※接着剤(現場手配)で固定してください。
※床材厚さ15mmの場合、下地材t=3mm(現場手配)を使用してください。

●レールの取付け



●戸当たり

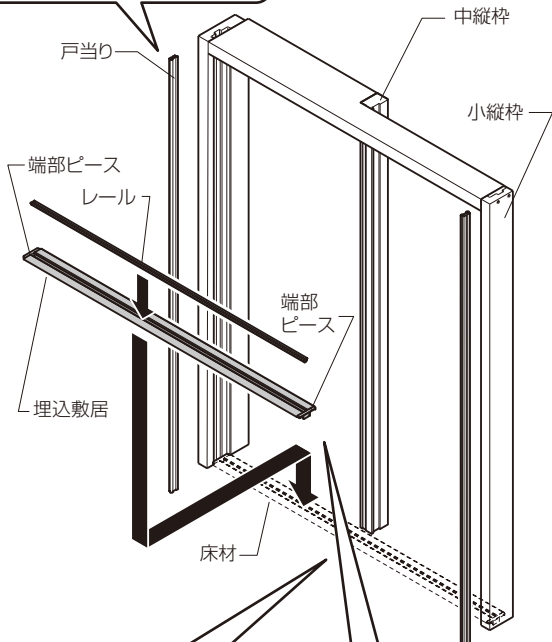
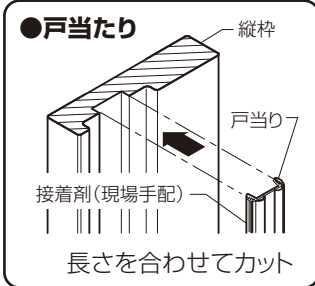


5-1 床部の施工(埋込敷居)

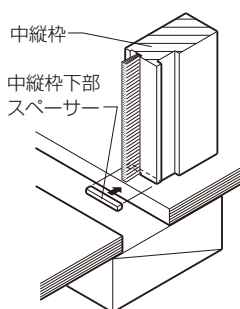
- ①中縦枠下部スペーサーを、リブ面を上向きにして中縦枠のすき間に入れてください。
- ②戸じゃくりに端部ピースを合わせて、敷居を固定してください。
- ③レールに当て木をあててプラハン等でたたき込んでください。
- ④戸当たりの長さを合わせてカットし、接着剤を塗布して枠に取付けてください。

■埋込敷居用部品セット

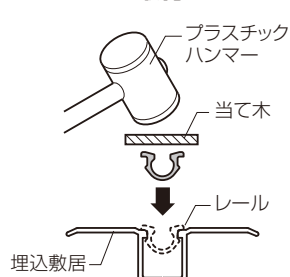
名称		入数
敷居取付け用ベタタッピンねじφ4×30		5
中縦枠下部スペーサー		1



●中縦枠下部スペーサーの取付け



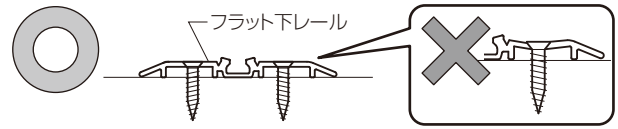
●レールの取付け



5-2 床部の施工(フラット下レール)

フラット下レール取付け上のお願

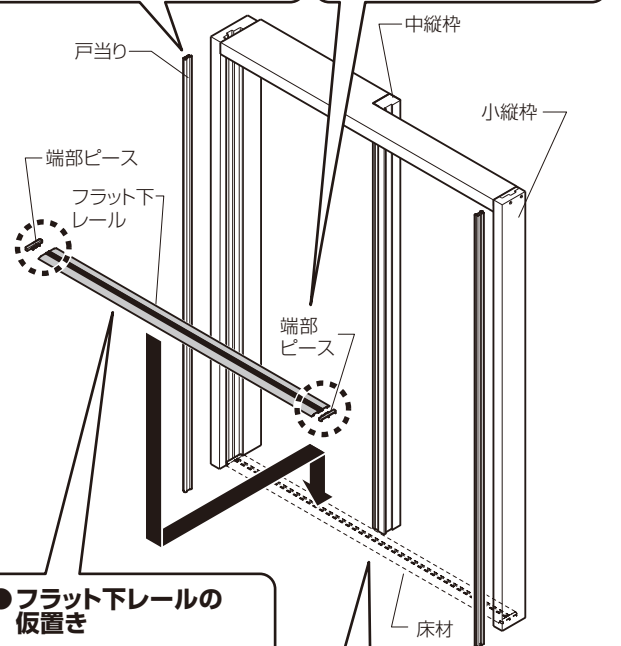
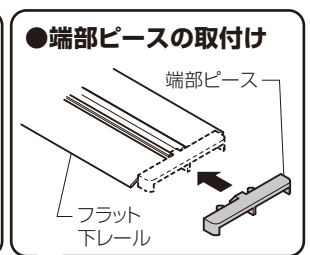
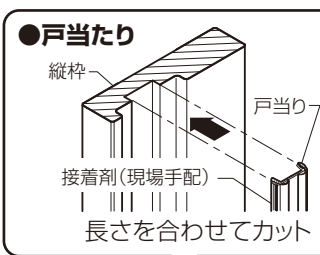
- 開閉不良になるので、固定ねじを締めすぎないでください。



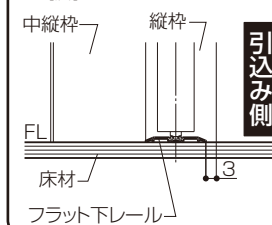
- ①中縦枠下部スペーサーを、リブ面を上向きにして中縦枠のすき間に入れてください。
- ②端部ピースをフラット下レールの端部に差し込んでください。
- ③フラット下レールを指定の位置に仮置きして、ねじで固定します。
- ④戸当たりの長さを合わせてカットし、接着剤を塗布して枠に取付けてください。

■フラット下レール用部品セット

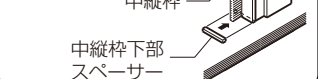
名称		入数
レール取付け用皿タッピンねじφ4(D6)×18		14
戸じゃくり1本用ピース		2
中縦枠下部スペーサー		1



●フラット下レールの仮置き

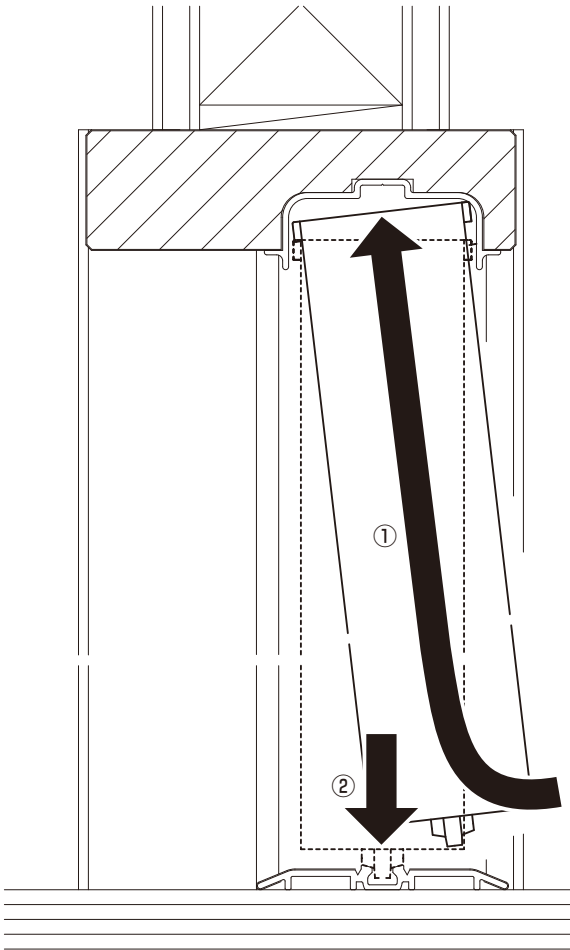


●中縦枠下部スペーサーの取付け



⑥ 本体の吊り込み

- ① 本体を持ち上げながら、本体上部を上レールに差し込んでください。
- ② 戸車の先端を下レールの溝にはめてください。

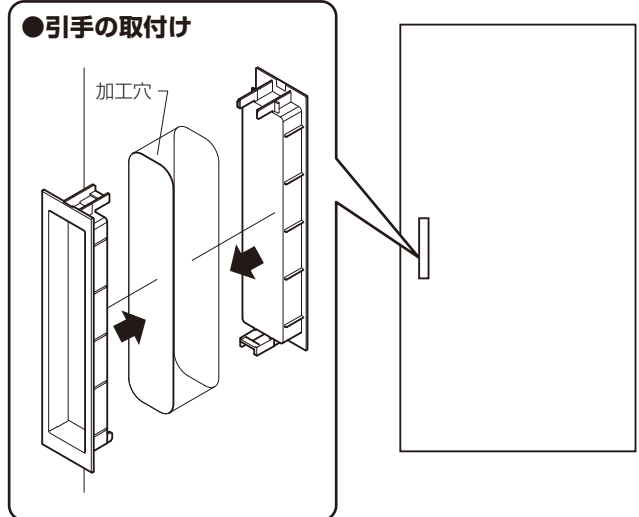


⑦ 本体への部品付け(吊り込み後)

- ① 仮組みされた引手は平行に引き抜いてください。
- ② 引手を本体加工穴に押し込み固定してください。

■ 引手セット(別売り)

名称	入数
引手	2個



■ オプション部品(錠・バーハンドル)の取付け

各オプションの取付け説明書を参照してください。

8 本体側の調整について

▲ 注意



●建付け調整をして、本体と上レールのかかりを5mm以上にしてください。扉が倒れて、ケガをするおそれがあります。

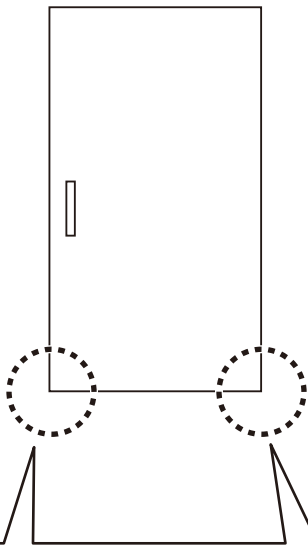
●建付け調整について

①上下調整(上4mm、下2mm)

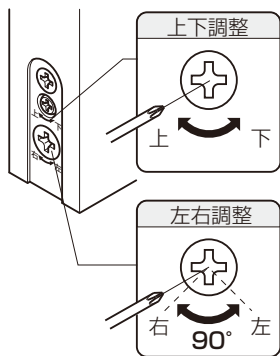
ドライバーで右に回すと本体が上がり、左に回すと下がります。

②左右調整(左右2mm)

ドライバーで右に回すと本体が右へ、左に回すと左に動きます。



●建付け調整



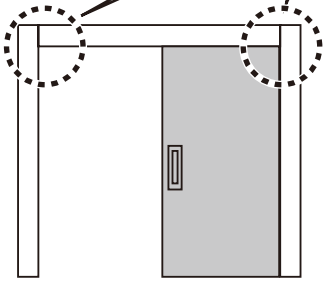
9 枠側の調整について

調整上のお願い

●ソフトモーションが作動しないため、受け部品の高さ調整を実施してください。

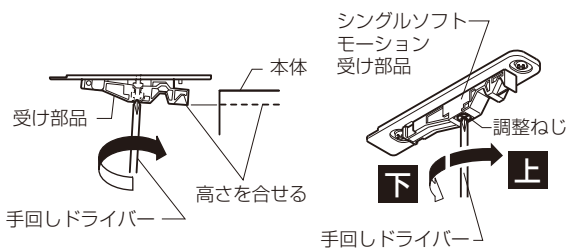
※初期設定：受け部品と本体のかかりが一番小さい状態

	戸先	戸尻
シングルソフトモーション	A	B
ダブルソフトモーション	A	A
ブレーキ	B	—



A

●調整方向について



シングルソフトモーション調整動画



973032775002

A：ソフトモーション受け部品の高さ調整

①ドライバーで右に回すと受け部品が上がり、左に回すと下がります。

B：ブレーキの調整

ブレーキ力調整

①ドライバーで右に回すとブレーキ力が強くなり、左に回すと弱くなります。

ブレーキの左右調整

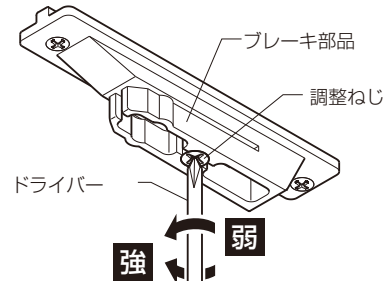
①ブレーキ部品の固定ねじをゆるめ、本体を途中まで閉じてください。

②片側の固定ねじを締め、本体を開けて反対側の固定ねじも締めてください。

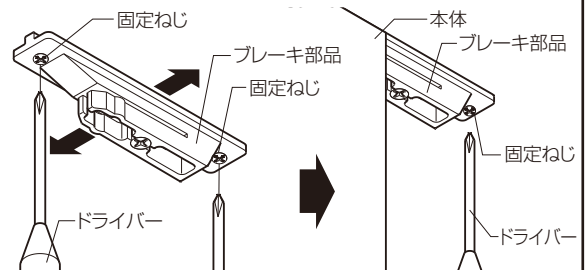
B

●ブレーキ力の調整について

シングルソフトモーション
ブレーキ



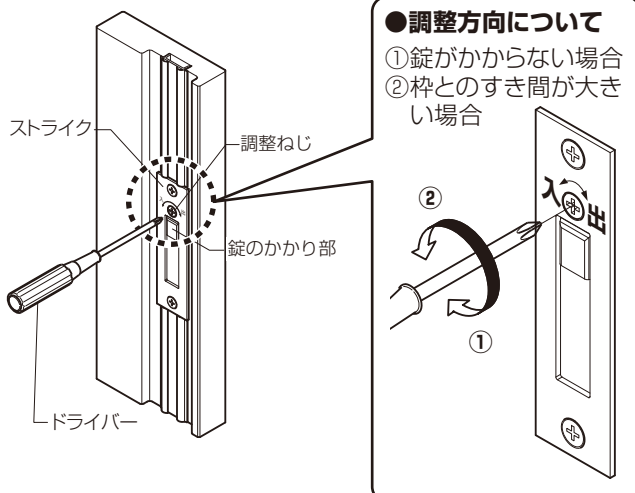
●ブレーキの左右調整について



●引戸錠のかかり調整

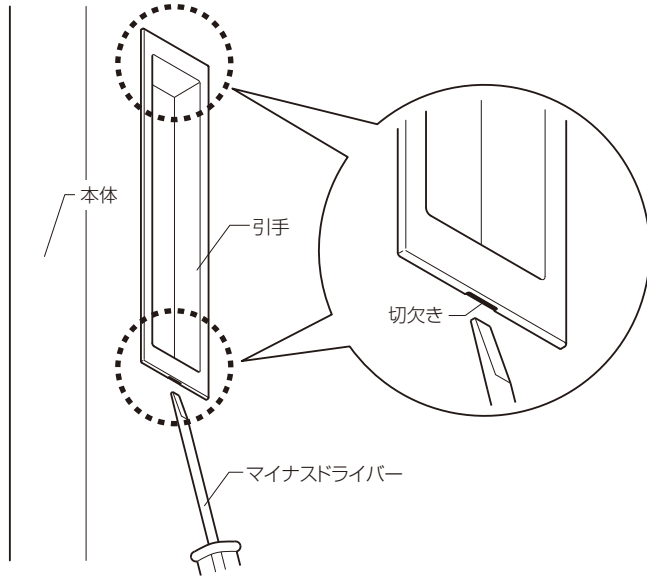
①錠がかからない場合、右に回してください。

②枠とのすき間が大きい場合、左に回してください。



④引手の取外し方法

マイナスドライバー等を切欠きに入れて外してください。


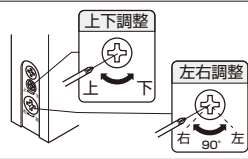
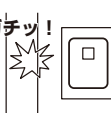
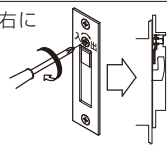
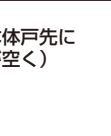
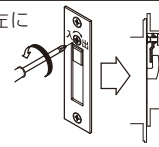
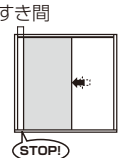

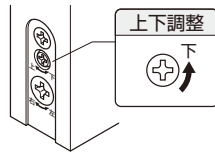
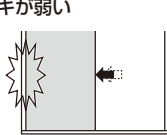
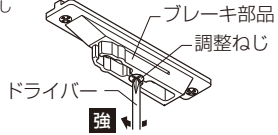

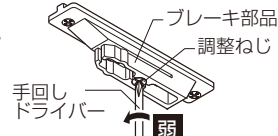

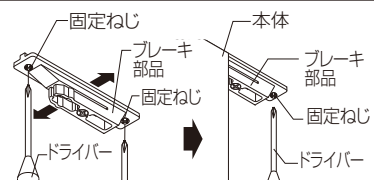
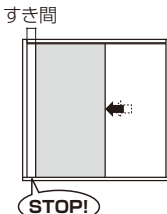
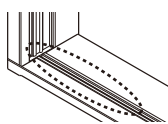
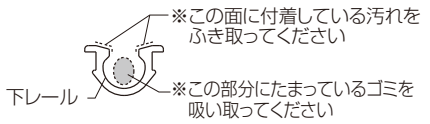


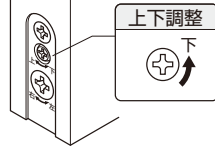
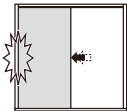
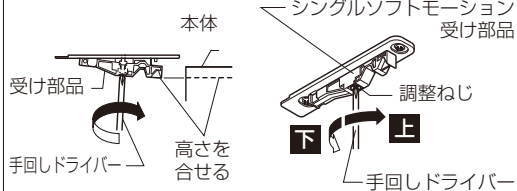

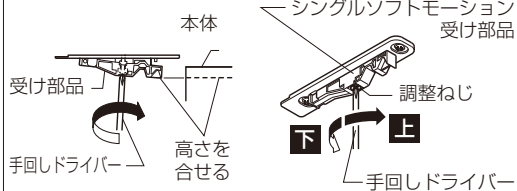


⑤困った場合の対処(商品二次元バーコード情報)

製品ラベルの二次元バーコードを読み取ると、メンテナンス情報にアクセスできます。
※製品ごとに合わせた情報を公開しています。



■異常時の対処方法

区分	現象	チェックポイント	対処方法
共通	本体同士が当たる 	●戸車調整が不適當	戸車の左右調整をしてください。 ※左右調整ねじの可動範囲は90°です。これを超えて無理に回さないでください。 
	鍵がかからない ガチッ! 	●ストライク調整が不適當	ストライク調整ねじを右に回してください。 
	鍵が甘い (縦枠と本体戸先に すき間が空く) 	●ストライク調整が不適當	ストライク調整ねじを左に回してください。 
ブレーキ	閉まり きらない すき間 	●本体がブレーキと接触している。 	戸車を下げてください。 
	ブレーキが弱い 	●ブレーキ力調整が不適當	ブレーキ調整ねじを右に回してください。 
	ブレーキが強い (開けはじめが重い) 	●ブレーキ力調整が不適當	ブレーキ調整ねじを左に回してください。 
	グググッ 	●ブレーキ左右調整が不適當	固定ねじをゆるめ、本体を閉めて位置合わせをしてから固定ねじを固定してください。 
ソフト モーション	閉まりきらない すき間 	●下レールに粉塵やゴミがたまったり付着している。 	下レールを清掃してください。 ※この面に付着している汚れをふき取ってください ※この部分にたまっているゴミを吸い取ってください 
	本体があおる ガタッ! 	●本体がソフトモーション受け部品と接触している。 	戸車を下げてください。 
	ソフトモーションが作動しない 	●枠の取付け精度が許容範囲をオーバーしている。 ※『開口部の作り方』、『枠の取付け』、『取付け精度について』参照	許容範囲内となるように再施工してください。 
	本体があおる ガタッ! 	●ソフトモーション受け部品の調整が不適當	調整ねじを回して受け部品の高さを調整してください。 

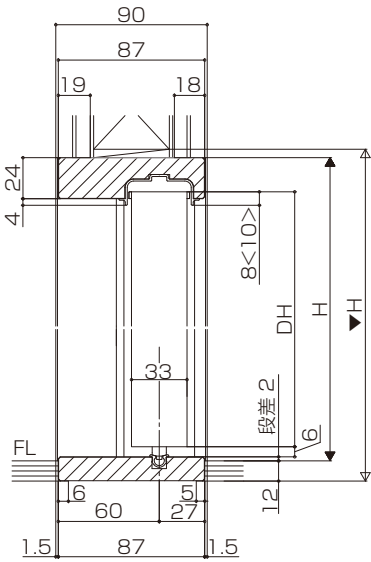
■納まり図

■室内引戸 Vレール方式 片引き ノンケーシングタイプ90

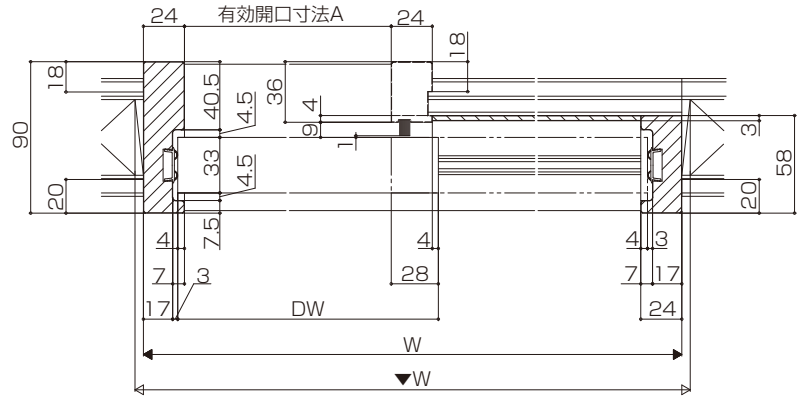
●縦断面図

●横断面図

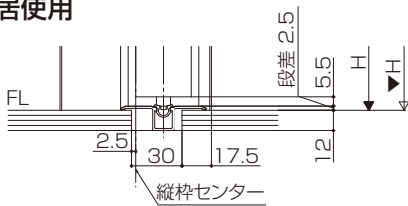
・ツバなし薄敷居使用



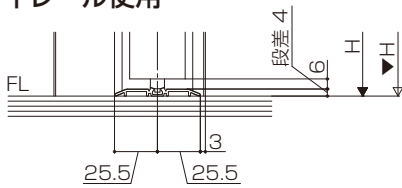
※<>内はフラット下レール納まりの寸法を示します。



・埋込敷居使用



・フラット下レール使用



有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法
W12(1188)	556
W13(1324)	624
W14(1454)	689
W16(1644)	784
W18(1824)	874

算出式: A寸法=(W-76)/2

DW=(W-12)/2

両側バーハンドル取付け時

算出式: A寸法=(W-76)/2-92

※梁またはまぐさが軽量鉄骨の場合は、ねじ保持力が弱いので、直接固定しないでください。
必ず枠と軽量鉄骨の間に木枠を入れて取り付けてください。
また、枠の垂下がり・ゆがみ防止のため、壁の仕上げ材に合板を使用してください。

MEMO
